



"Happiness Helps Healing"

お陰さまで、新年度（2014年10月1日～）がスタートし早や半年。
最新の活動紹介や多方面からのメッセージなどをお届けします。

1. ごあいさつ
2. 新活動場所紹介～慶應義塾大学病院&淀川キリスト教病院こどもホスピス
3. アーティストよりひとこと～音楽療法士 豊 雅子
4. 病院よりメッセージ～日赤医療センターボランティア担当千葉様
5. 上半期の活動報告
6. 「エクセレント NPO 大賞」授賞式の様子とノミネート講評
7. 書籍紹介～溝呂木梨穂さん著 詩集「らりるれろのまほう」
8. コラム～支援のハート 都立永福学園 教諭 松本健太郎
9. コーディネーターからメッセージ～石巻地区コーディネーター千葉淳子
10. 各地の活動風景より
11. 数字とグラフで見るスマイリングホスピタルジャパン
12. 今後の予定 & 団体概要



ごあいさつ

日頃はスマイリングホスピタルジャパンの活動に賛同くださり、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。
1月30日には、2014年度の活動報告会を行い、慌ただしい月末、そして冷たい雪の中にもかかわらず大勢の方にご参加いただきました。「春ちゃんは元気です」著者の松田ご夫妻による講演、そしてSHJアーティストによるパフォーマンス「紙芝居ミュージカル隊もっくんぽとがやってきた」は大好評でした。そして懇親会と続き、あっという間の2時間。日赤医療センターのご協力とたくさんのボランティアスタッフにより、企画・運営することができました。
さて今年、慶應義塾大学病院と淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院での活動が始まりました。
また新たに訪問を開始する予定の岡山、静岡、東京にて、新コーディネーターが開始に向けて病院と連携、準備を進めています。今後もみなさまからのご支援と現場の期待に応えるべく、入院治療を頑張る子どもたちがかっこよく笑顔になれるよう取り組んで参ります。
引き続きどうぞよろしくお願いいたします。 スマイリングホスピタルジャパン スタッフ一同



●新活動場所紹介

■ 慶應義塾大学病院

今年2月より活動を開始しました。活動導入を提案してから2ヶ月という異例のスピードで実現しました。子どもたちに楽しい経験をたくさんさせてあげたい、という病院の温かさを物語ります。初回の活動を通して病院スタッフからいただいた感想を紹介します。



医療事務室 佐藤正明

子供たちにとって、また、スタッフにとっても素敵な時間をプレゼント頂き、ありがとうございます。このような時間を過ごすことは子供たちの心に夢や希望を与えて頂くと共に、療養の手助けにも必ずや繋がっているものと確信致します。同時に医師、看護師等の医療スタッフにとっても、多忙で緊張感の続く業務環境の中、心とらぐ時間を送ることができ、チーム医療の活性化に役立つものと思います。誠にありがとうございます。



2月19日 5S病棟個室にて
NIKONIKO 大使ガイの
「マジック・バルーンアート・
ジャグリング」

■ 淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院

1982年に世界で初めて創設されたこどもホスピス“ヘレン&ダグラスハウス”をならい、2012年11月1日、日本で初めてとなる医療型ホスピス・こどもホスピス病院が開院しました。小児がんや重い難病のこども達が、家庭的な環境の中で安心して医療を受けることができ、そのご家族の在宅ケアによる負担も軽減するのが狙いです。



病院入口付近



スカイガーデン



シアタールームにはたくさんのDVDと視覚効果のスヌーズレン

週1回のリクエスト食、共用スペースに施された「おそと」「おうち」の各コーナー。そして廊下など要所に配置されたスヌーズレン。シアタールームやスカイガーデン。個室はこどもたちの大好きなキャラクターの壁紙や優しい色のカーテン、そしてご家族も一緒に過ごせるリビングスペースが設けられています。照明アーティストからのプレゼントは好きなものを選んで個室の内外に取り付けます。スタッフの温かい笑顔ときめ細やかさに包まれて、こどもやご家族にとって安心できる癒しの居場所となっています。

このホスピス・こどもホスピス病院での活動を通して、重い病気や障がいを負って生きているこども達やそのご家族の皆様へ、芸術を通して豊かな時間を送っていただきたいと思います。



自然の採光と照明を組み合わせた環境づくり。ゆったり自分のペースで過ごせるスヌーズレンを各所に配備。

*スヌーズレン・・・光、音、におい、振動、温度、触覚の素材などを組み合わせたトータルリラクゼーション設備ありのままの自分が受け止められ、自分で選び、自分のペースで楽しむ、障がいの有無に関わらず心地よい時間を過ごす場。約40年前にオランダで生まれ、ヨーロッパを中心に世界に広がり、日本では施設などを中心に試みられている。

●アーティストよりひとこと

～スマイリングホスピタルジャパンに参加して～

日本音楽療法学会認定音楽療法士 豊 雅子

皆様、初めまして！大阪でアーティスト登録し、音楽遊びを担当させて頂いている豊（とよ）と申します。私は去年11月から活動させて頂いています。普段は音楽療法士として仕事をしていますので、乳幼児から100歳の高齢者まで障がいのあるなしを問わず様々な人々と音楽を通してお付き合いしています。登録をしたきっかけはSHJの理事の三原さんに「こんな活動しているからHPをみてね！」と言われたことです。この活動は素晴らしいものだとすぐにわかりました。私に何が出来るだろうと戸惑いもありましたが、私の経験が役に立つのならと登録しました。最初の活動時、子どもたちの笑顔ですぐにそんな不安は吹き飛び楽しい時間でした。私の方が子どもたちから力を頂きました。院内での活動は様々な制約があり毎回模索していますが、素敵な時間になるようにつとめていきたいと思っています。大阪はまだアーティストが少ないのですが、賛同してくれるアーティストが増えてくれればと願っています。

●病院よりメッセージ～スマイリングホスピタルジャパンの活動に思う～

日本赤十字社医療センター医療社会事業課
ボランティア担当係長 千葉修一

私がボランティア係を引き継ぎ早 2 年が経とうとしていますが、「スマイリングホスピタルジャパン」さんはその半年前から小児病棟でプロの芸術家による癒しの慰問活動を実践されていました。初めて紹介されたのは 2 週続けての外国の方で、1 人はマジックもう 1 人はバルーンアート。流暢な日本語をつかい子供たちに話しかけながらの笑いを誘う芸風で、付き添いの親御さんも和やかに参加して親子で風船のプレゼントによるこんでおられました。その後、登録したボランティアスタッフは代表の松本さんを含めて 20 人となり、大道芸や新聞紙を丸めて色つきカムテープで形を作り帽子や仮面を作って記念写真に納まったりと子供たちの癒しのテーマは尽きません。寝たきりの患者や幼児でもピアノの弾き語り音楽には敏感に反応し手足を動かしてリズムを取っているしぐさ、それを見守る付き添いの親御さんや担当の看護師さんも歓声を上げて楽しむ姿は、芸術の専門家であるボランティアさんの醍醐味と思われまます。今後も小児病棟と附属乳児院を楽しく癒してください。



2月23日 日赤医療センター附属乳児院な
マジック・バルーン・ジャグリング
by NIKONIKO 大使ガイ

●平成 26 年度上半期活動報告

平成 27 年 3 月現在、神奈川県立こども医療センター、日赤医療センター、療育室つばさ、宮城県立こども病院、石巻赤十字病院、京都大学医学部附属病院、大阪市立総合医療センター、慶應義塾大学病院、淀川キリスト教病院・こどもホスピタルにて活動しています。

月/日	曜	活動場所	活動内容	担当者
10/1	水	神奈川県立こども医療センター内科系病棟	マジック&ジャグリング&パントマイム	よーへー
10/3	金	神奈川県立こども医療センター 外科系学童病棟	造形アート「モンスターになろう」	佐々木優子
10/6	月	日赤医療センター 小児病棟 附属乳児院	マジック&バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
10/10	金	神奈川県立こども医療センター外科系乳幼児病棟	マジック&バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
10/15	水	京都大学医学部附属病院小児病棟	即興演劇	カクテルホイップ
		石巻赤十字病院 小児病棟	キーボードデュオリサイタル	トゥッティ
10/17	金	神奈川県立こども医療センター外科系思春期病棟	マジック&バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
		療育室つばさ	音楽とお話の紙芝居朗読劇	山中一徳
10/20	月	日赤医療センター 小児病棟	塗り絵 コラージュ	真鍋麻里
10/24	金	神奈川県立こども医療センター骨髄移植化学療法	音楽とお話朗読劇	もっくんぼっと
		宮城県立こども病院 小児病棟	キーボードデュオリサイタル	トゥッティ
10/27	月	日赤医療センター 小児病棟	マジック&バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
11/7	金	神奈川県立こども医療センター ハイケア2病棟	塗り絵 コラージュ	真鍋麻里
11/10	月	日赤医療センター 小児病棟 附属乳児院	弾き語り&なんでもリクエスト	眞理さん
		宮城県立こども病院 小児病棟	わくわくリズム	穴戸素子
11/14	金	神奈川県立こども医療センター肢体不自由児施設	音楽とお話朗読劇	もっくんぼっと
11/17	月	日赤医療センター 小児病棟	造形アート「モンスターになろう」	佐々木優子
		療育室つばさ	音楽とお話の紙芝居朗読劇	山中一徳
		石巻赤十字病院 小児病棟	マジック&バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
1/19	水	京都大学医学部附属病院小児病棟	ピアノ演奏とリズムで遊ぼう	豊雅子
11/21	金	神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科	手形スタンプアート	坂本和美
11/28	金	神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設	音楽とお話朗読劇	もっくんぼっと
12/1	月	日赤医療センター 小児病棟	造形アート「モンスターになろう」	佐々木優子
12/3	水	神奈川県立こども医療センター内科病棟	音楽とお話の紙芝居朗読劇	山中一徳
12/5	金	神奈川県立こども医療センター外科系乳幼児病棟	クラフトワークショップ	室園久美
12/8	月	日赤医療センター 小児病棟	一緒にバイオリンとピアノ演奏	石橋和子石内幹子
12/12	金	神奈川県立こども医療センター外科系乳幼児病棟	歌のおねえさんと思いきりうたおう	湯浅ゆう子
12/15	月	日赤医療センター 小児病棟	マジックコメディアンと英語で遊ぼう	クラウドィ
		大阪市立総合医療センター	マジック&バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
12/17	水	神奈川県立こども医療センター内科病棟	塗り絵 コラージュ	真鍋麻里
		京都大学医学部附属病院小児病棟	大道芸	たつきゆうさん
12/22	月	日赤医療センター 小児病棟 附属乳児院	音楽とお話クリスマス朗読劇	もっくんぼっと
		宮城県立こども病院 小児病棟	クリスマスゴスペル	穴戸素子グループ

	曜	活動場所	活動内容	担当者
1/7	水	神奈川県立こども医療センター内科病棟	ミニリサイタル&何でもリクエスト	眞理さん
1/9	金	神奈川県立こども医療センター骨髄移植化学療法病棟	音楽とお話の朗読劇	山中一徳
1/19	月	日赤医療センター 小児病棟 付属乳児院	ミニリサイタル&何でもリクエスト	眞理さん
1/21	水	神奈川県立こども医療センター内科病棟	マジック・ジャグリング・バルーン	NIKONIKO 大使ガイ
		京都大学医学部附属病院 小児病棟	大道芸	たつきゆうさん
1/23	金	神奈川県立こども医療センター精神科病棟	塗り絵&コラージュ	真鍋麻里
1/26	月	日赤医療センター 小児病棟	廃材を使って変身!	佐々木優子
1/27	火	宮城県立こども病院	音楽遊び	穴戸素子
1/28	水	療育室つばさ	和紙でちぎり絵	ラキ オハナ
		石巻赤十字病院 小児病棟	音楽遊び	穴戸素子
2/2	月	日赤医療センター 小児病棟	マジック・ジャグリング・バルーン	NIKONIKO 大使ガイ
2/4	水	神奈川県立こども医療センター内科病棟	廃材を使って変身!	佐々木優子
2/6	金	神奈川県立こども医療センターハイケア2病棟	音楽とお話の朗読劇	山中一徳
2/9	月	日赤医療センター 小児病棟	ミニリサイタル&何でもリクエスト	眞理さん
2/13	金	神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設	歌のお姉さんとおもいっきり歌おう	湯浅ゆう子
2/16	月	日赤医療センター 小児病棟	英語でマジック	クラウドィ
2/18	水	神奈川県立こども医療センター内科病棟	マジック・ジャグリング・バルーン	NIKONIKO 大使ガイ
		京都大学医学部附属病院 小児病棟	パーカッションでリズム遊び	豊雅子
2/19	木	慶應義塾大学病院5S病棟	マジック・ジャグリング・バルーン	NIKONIKO 大使ガイ
2/20	金	神奈川県立こども医療センター外科乳幼児学童病棟	音楽とお話の朗読劇	山中一徳
2/23	月	日赤医療センター 小児病棟 付属乳児院	マジック・ジャグリング・バルーン	NIKONIKO 大使ガイ
2/24	火	宮城県立こども病院	ピアノとバイオリン演奏	モッキンバード
2/27	金	神奈川県立こども医療センター外科乳学童思春期病棟	ジャズとブルース連弾	石橋和子
2/28	土	療育室つばさ	にじいろ手形アート	坂本和美
3/4	水	神奈川県立こども医療センター内科病棟	塗り絵&コラージュ	真鍋麻里
3/7	土	神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設	紙芝居ミュージカル	もっきんぼっと
3/9	月	日赤医療センター 小児病棟	お絵描き&似顔絵	水野ぶりん
3/11	水	大阪市立総合医療センター 小児病棟	コメディマジック・バルーン	野末隼
3/12	木	大阪市立総合医療センター 小児病棟	音楽とリズム遊び	豊雅子 西純江
3/13	金	神奈川県立こども医療センター骨髄移植化学療法病棟	音楽とお話の朗読劇	山中一徳
3/16	月	日赤医療センター 小児病棟	ミニリサイタル&何でもリクエスト	眞理さん
3/17	火	慶應義塾大学病院3N病棟	ミニリサイタル&何でもリクエスト	眞理さん
3/18	水	神奈川県立こども医療センター内科病棟	和紙でちぎり絵	ラキ オハナ
		京都大学医学部附属病院 小児病棟	コメディマジック・バルーン	野末隼
		淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院	音楽とリズム遊び	豊雅子 西純江
3/19	木	石巻赤十字病院 小児病棟	キーボードデュオリサイタル	トゥッティ
3/23	月	日赤医療センター 小児病棟 付属乳児院	マジック・ジャグリング・バルーン	NIKONIKO 大使ガイ
3/24	火	宮城県立こども病院	キーボードデュオリサイタル	トゥッティ
3/26	木	慶應義塾大学病院5S病棟	紙芝居ミュージカル	もっきんぼっと
3/27	金	神奈川県立こども医療センターハイケア2病棟	ミニリサイタル&何でもリクエスト	眞理さん
3/30	月	日赤医療センター 小児病棟	ミニリサイタル&何でもリクエスト	眞理さん

● その他活動報告

- 10月 石巻赤十字病院にて活動を開始しました。
通常総会開催後、都へ2013年度の事業報告を完了しました。
- 12月 エクセレントNPO大賞としてノミネートされ、日本プレスセンターにて表彰式に出席しました。
東京MXテレビニュース特集にてSHJが紹介されました。
- 1月 FCA Japan NPO ワークショップに参加し、活動報告&予定プレゼンテーションを行いました。
日赤医療センターにて2014年度活動報告会を開催しました。
- 2月 ACCJ 在日米商工会議所 Charity Reception に出席し、活動報告&予定プレゼンテーションを行いました。
慶應義塾大学病院にて活動を開始しました。
岡山、静岡、東京にて病院&アーティスト説明会を行いました。
- 3月 4日付け産経新聞にて、京都大学医学部附属病院での活動を通してSHJが紹介されました。
淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院にて活動を開始しました。

●「エクセレントNPO大賞」ノミネート！！！！ プレスセンターでの授賞式の様子（2014年12月9日）

エクセレントNPO大賞とは・・・

「『エクセレント NPO』をめざそう市民会議<http://www.excellent-npo.net>」により、非営利組織が組織力と市民とのつながりを高め、エクセレントなNPOを目標にして競い合い、その動きが市民に可視化されることで、市民社会に大きな変化を起こすことを目指し2010年に発足されました。

ノミネート段階で発行した前号にて「エクセレントNPO大賞受賞なるか！」とお知らせしておりましたが、

残念ながら、応募総数106団体中15団体のノミネートにとどまりました。しかし以下のような錚々たるNPOと授賞式で同席できたことは大変名誉なことです。また、ノミネートされた時点であらゆる角度から客観的に審査され、NPOとして一定の評価を受けたと考えることができ、今後の励みになりました。今回の講評を励みに、さらに支援して下さる方々の期待に添えるよう取り組む決意をいたしました。



(1) 審査結果

■大賞：シャプラニール=市民による海外協力の会

■市民賞：ママの働き方応援隊

ノミネート団体： アクション /

石巻復興支援ネットワーク / たすけあいの会ふれあいネットまつど / マドレボニータ

■課題解決賞：にじいろクレヨン

ノミネート団体： スマイリングホスピタルジャパン / 自立生活サポートセンター・もやい / ACE

■組織力賞：シャプラニール=市民による海外協力の会

ノミネート団体： テラ・ルネッサンス / こどもステーション山口 / 東京コミュニティスクール / 国際ボランティア学生協会 / Teach For Japan

(2) 応募方法

エクセレントNPO評価基準の16基準に基づいて自己評価を行い、その他の応募書類とともに提出。

(3) 応募結果

市民賞に23団体、課題解決賞に73団体、組織力賞に10団体で応募総数106件。

(4) 審査の方法

予備審査と3度の本審査で、全6工程審査。

1 予備審査

応募書類が揃っているか、自己評価が適切に行われているか、事業報告書や会計報告書、役員リストなどがホームページ上に公開されているかを確認、各賞において足切り。

2 本審査

第一次審査：各部門ごとノミネート候補選出

第二次審査：15団体を決定

第三次審査：市民賞、課題解決賞、組織力賞の団体を選出 大賞決定

課題解決賞評価基準：

- ・ 情報開示、資金の透明性、公序良俗や市民参加など基本的な要件を満たしているか否か
- ・ 課題認識のあり方、課題の背景にある原因や制度、慣習をどの程度把握しているか
- ・ 課題認識に基づきどの程度、明確に目標を設定しているのか
- ・ 目標達成にむけてどのようにリーダーシップを発揮しているのか
- ・ 政策提言や、その際の政治的・宗教的な中立性をどのように担保しているのか

講評：

「スマイリングホスピタルジャパン」は、長期入院児や社会福祉施設入所児・者に対して、回復に向けての活力を引き出し、闘病意欲や生きる喜びを持ち続けられるよう、独自の方針のもと施設の個室やプレイルームを訪問し、継続的に活動を行っています。

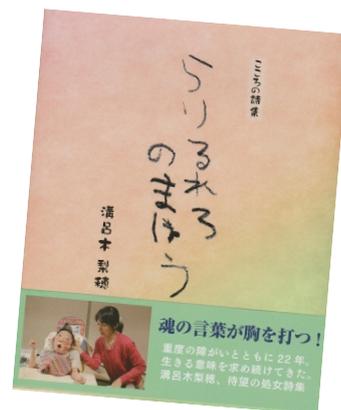
本団体の課題の理解と目標設定は明確であり、多くの人々の理解や賛同を得る可能性があります。しかし、これを継続的な活動に展開していくためには、様々な協力者を集め、訪問先の病院を開拓し、計画を作り、それにもとづいて実行していく必要があります。その過程から、リーダーシップがしっかりと機能していることが窺えました。そして、設立2年目ながら、訪問先病院数、裨益した子供数は伸びており、今後の展開が楽しみなところですが、その際、現在実施しているように裨益した子供数などの進捗をデータによって管理することが重要になるでしょう。ただし、裨益した子供数のみならず、子供たちや親御さんの状態の変化を記録することが大事です。その内容を分析し、議論することで、事業改善のための豊富なヒントを得ることができると思います。また、自己評価書にもこうした状況を記すと、より説得力が増してくるでしょう。

同団体は創設間もない若い団体です。しかし、自己評価書に記されているように、病院や医療制度の壁は決して低くありません。場合によっては、現行の活動に加え、制度面の改善を訴えてゆく活動も重要になっていくかもしれませんが、その時には活動計画を見直し、構成員でしっかりと議論し、共有していくことが大切です。

★もちろん今年も挑戦！大賞をめざします。

●書籍紹介～「らりるれろのまほう」 溝呂木梨穂著 Office Oharada 発行

作者の溝呂木 梨穂（みぞろぎ りほ）さんは、生まれてすぐ起きたトラブルで、体の自由や、言葉を表に出す機能を失ってしまいました。重度の障がいとともに22年。ご家族や一部の方を除いて、梨穂さんには感じたり考えたりする能力はないと思われてきました。しかし、パソコンや文字盤、指談などで言葉を引き出す柴田保之学院大学人間開発学部教授との出会いによって、孤独の闇に光が射したのです。それまで自分の中だけにしまわれてきた梨穂さんの思いを表すことができるようになり、「詩集」という形になりました。



●コラム～支援のハート

東京都立永福学園 肢体不自由教育部門 教諭 松本健太郎

入院中の子どもの中には、身体の状態が重度で、こちらのはたらきかけにも一見反応を示してくれない重度重複障がいと呼ばれる子どもたちがいます。彼らは外見の重篤さから知的にも初期発達に留まっていると評価されてしまうことが多くあります。しかし、私自身の経験から感じることは、様々な制約によりあらゆる場面で苦勞し生活している子どもは、生活年齢と同じまたはそれ以上に深い精神世界を持っているということです。子どもたちが過小評価される原因として、かかわる側が見かけの重度さで子どもの内面まで評価してしまうこともあります。彼らとのやりとりの糸口をつかめず、どのようにコミュニケーションをスタートさせて良いかわからないことも大きな要因となっていると感じます。確かに、特別支援学校の教員でも子どもの身体状態の重度さととらわれて、何から始めたら良いのか分からないという場面はあります。そういったときには、「障がいを見ずに、何に困っているかに注目する」という言葉が大きなヒントを与えてくれます。

例えば、見えにくさや聞こえにくさなどの感覚の使い方に制約があると、自分を取り巻く環境の情報を得ることが難しくなります。自分が「どこ」にいるのか、話している相手は「だれ」なのか、これから「なに」をするのかなど、私たちは意識せず得ている情報が、子どもたちには受信できていない可能性があります。コミュニケーションの場面でも、相手の表情がわからない、相手の反応が受信できないなどの困難さが想像できます。こう考えると、かかわる側が子どもの反応がなくて困っている以上に、子ども自身も相手の反応が受け取れず困っている場合が多くあることがわかります。このような状況が長く続くと、いくら自分から発信しても相手の反応がないので（実際は受信できないだけですが）、すればするほど虚しくなり、発信すること自体を諦めてしまい（学習性無気力症）、自分の世界だけに閉じこもってしまう（閉じ込め症候群）のも納得できます。重度重複障がいと呼ばれる子どもたちには、実はこういう方が多くいます。

子どもたちとコミュニケーションをスタートするためには、前述のように、私たちが何気なく得ている情報も、一つ一つ意識して子どもに分かりやすい形で伝えることが大切です。

見えにくさなどの感覚や運動の制約がある子どもは、近くに人がいてもそれが誰か分からない場合が多くあります（見えにくさもありますし、見たい方向に首を回すことも困難な場合もあります）。そのため、子どもに話しかけるときには、いつでも最初に「○○です。」と名乗るようにします。そうすることで、子どもは自分に話しかけているのは誰かを知ることができ、安心してやりとりを始められます。学校では音声以外でも「だれ」の情報を伝える様々な工夫をしています。教員ごとにテーマソングを決めたり、毎日、同じ色のTシャツを着たり、香水、アームバンド、鈴などをつけたりして、視覚や聴覚だけでなく触覚や嗅覚などいろいろな感覚で「だれ」の情報が子どもに伝わるようにしています。また、子どもに、話しかけたら、まばたきや、声、身体の動きなどの反応を待ちます。反応があったら「なに？○○ということ？」と子どもの発信を丁寧に捉え言語化します。そうすることで、「何かを伝えようとしても誰も気づいてくれない」と諦め自分の世界に閉じこもっていた子どもにも変化が起こります。自分の発信で外界に何らかの影響を与えることができるという可能性に気づくからです。どんなことに困っているのか子どもたちに教えてもらいながら（困難さに寄り添って）、一人一人の子どもの間口にあった環境を整えていくと、やりとりの糸口がつかめる瞬間があり、その子どもの魅力がどんどんこちら側に伝わってきます。他では味わえない、素晴らしい瞬間です。

●病院の風景から



病院ボランティアによるつるし雛
神奈川県立子ども医療センター廊下にて

端午の節句のお飾り
神奈川県立子ども医療センター
外来待合にて



子どもたちの作品展示
版画家ツツミエミコによるステンシル
ワークショップ
神奈川県立子ども医療センター
病室プレイルームにて

●地区コーディネーターごあいさつ



石巻地区コーディネーター 千葉 淳子
 自宅音楽教室でピアノ指導しつつ、地域の子育て支援センターや児童館などで「リトミック」やリズム遊び、打楽器を使った「ドラムサークル」を行っています。
 SHJの活動を知り、「自分にできること」で子どもたちに楽しいひとときを味わってもらえればとアーティストとして、また、石巻地区コーディネーターとして参加することになりました。
 宮城、石巻地区は昨年10月より活動が始まりました。人との繋がりを大切に活動していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

●各地の活動風景より

季節に合わせたイベントやご家族をお呼びしてのパフォーマンスなど、各地でアーティストたちの工夫により様々な活動が行われています。月平均20回の活動のうち、いくつかその場面をご紹介します。

11月17日 石巻赤十字病院
 マジック・バルーン・ジャグリング
 by NOKONIKO 大使ガイ



12月22日 宮城県立こども病院
 クリスマスゴスペル by 宍戸素子、
 庄司ゆきえ & 坂巻奈美恵



12月20日 療育室つばさ
 ちぎり絵ワークショップ
 by Laki Ohana (橋本雅子&黒木麗子)



2月9日 日赤医療センター
 ピアノ・ボーカルリサイタル&医師とのセッション



3月9日 日赤医療センター
 お絵描き&似顔絵
 by 水野ぷりん

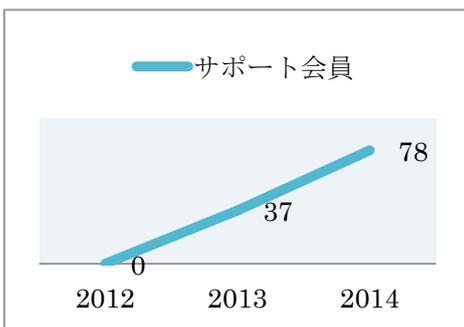
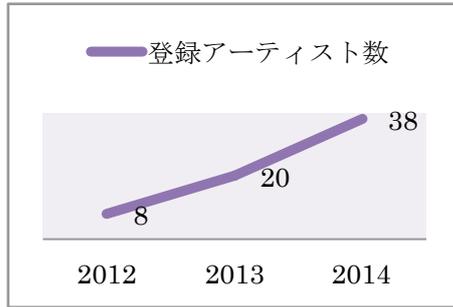


3月7日 神奈川県立こども医療センター
 重症心身障害児施設
 紙芝居ミュージカル隊もっきんぼとがやってきた

●数字で見る SHJ 2015年3月15日現在

活動病院数 8 活動病棟数 29 活動施設数 4 開始準備中病院数 4 登録アーティスト 43
 正会員 14 サポート会員 82 団体サポート会員 6 寄付件数延べ(個人 企業含め) 90

●項目別推移 2014年度末現在



サポート会員募集中!

今後開始予定の4つの病院にて、適切な連携のもと安定した活動をスタートするために現在準備中です。子どもたち、各病院より好評を得ながら、さらなる期待と要望に応えるべくスタッフ一同取り組んでいます。いっそうの病児・障がい児支援のため、サポート会員を常時募集中です。会員、アーティストボランティア募集についてお近くの方にお声をかけてくださるよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

ホームページのフォームから、または下記メールアドレスまでお申し込みください。ファックス、お電話でもお受けしております。

●支援企業・団体 2015年3月現在



沖ワークウェル TEAM KAZU
 帽子の写真屋さん Fusion System Japan InterSearch Japan gooddo

●団体概要

- 事務局住所
 〒168-0072 東京都杉並区高井戸東三丁目3番15-308号
 電話番号/ファックス 03-6765-6883 Mobile:090-8894-2640
- メールアドレス: info@smilinghpj.org
- HP: http://www.smilinghpj.org
- Facebook: Smiling Hospital Japan
- Twitter: https://twitter.com/SmilingHpJ
- 銀行口座
 ゆうちょ銀行
 名義: 特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン
 記号: 10090
 番号: 74039541
 みずほ銀行
 名義: 特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン
 店名: 浜田山支店
 預金種目: 普通預金
 口座番号: 1950697

- 平成26年度役員一覧
 代表理事 松本 恵里
 副代表理事 神津 理絵
 理事 高橋 精一
 理事 三原 典子
 理事 谷口 幸路
 監事 浅野 眞理
- 各地区コーディネーター一覧
 全体統括: 三原典子
 仙台: 穴戸素子
 石巻: 千葉淳子
 京都: 田久朋寛
 大阪: 西 純江
 北海道: 米澤倫子
 岡山: 三好祐也
 静岡: 鈴木知子
 東京・神奈川: 松本恵里

今年より季刊といたしました。今号は、活動やアーティスト、スタッフ紹介に加え、病院や支援して下さる方からのコメント、そして専門家によるコラムなど、幅広い話題を掲載いたしました。次号は7月発行予定です。アートによる入院・入所児支援をいっそう広げ、その様子をより頻繁により分かりやすくお伝えして参ります。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。読者の皆さまからのご感想もお待ちしております。

SHJ 事務局